

～今シーズンのインフルエンザについて～

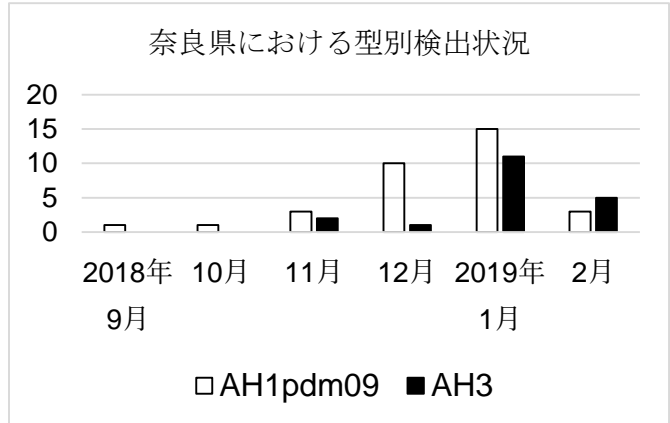


◇奈良県の状況◇

奈良県は2018年第48週に定点当たり報告数が1.0を超えました。その後、増加を続け、2019年第2週には警報開始基準値の30を超え、警報発令となりました。現在は、減少しつつありますが、定点当たり報告数が1.0を下回るまで注意が必要です。

保健研究センターの検査では、52例中（集団発生は1例と計上）AH1pdm09が33例（63.5%）を占め、AH3は19例（36.5%）であり、B型の検出はありません。流行開始時からAH1pdm09の検出の多い状況が続いてきましたが、1月からAH3の検出数が増加し、2月にはAH3の検出数がAH1pdm09を上回っています。

インフルエンザ脳症の届出は5例あり、4例がA型、1例がB型でした。



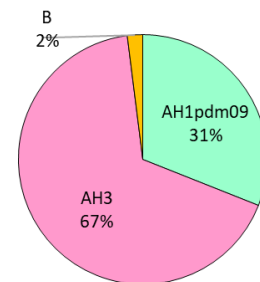
◇全国の状況◇

全国での今シーズン（2018年9月～2019年8月）のインフルエンザは、2018年第49週に流行開始の指標である定点当たり報告数が1.0を上回り、その後増加を続け、2019年第2週に38.54、第3週に53.91、第4週に57.09と急増しました。第8週には8.99まで減少していますが、予防対策は引き続き行う必要があります。

型別の検出状況は、2月2日時点の累積ではAH1pdm09が62%、AH3が36%、Bが2%であり、AH1pdm09が3分の2を占めていますが、直近5週間（第4週～8週）ではAH3が67%、AH1pdm09が31%、Bが2%とAH3の割合が増加してきています。

インフルエンザ脳症は、127例の届出があり、A型が107例、B型が1例、型別不明が19例となっています。

全国における直近5週間の型別検出割合



◇A型に2回感染する方もでていきます◇

年が変わってからAH3の検出が全国的にも増加しており、AH1pdm09に感染した人が、AH3にも感染するという事例も出ています。一度感染したから大丈夫というものではなく、A型にも2種類あるため再び感染する恐れがあります。また現在、B型の検出は全国的にも少ない状況ですが、今後流行してくると、さらにB型に感染する可能性もあります。一度感染した人も、また一度も感染したことがないから大丈夫と思っている人もしっかり予防対策を行うことが大切です。



(感染症情報センター)